

被覆工事

1. 適用

- (1) 配管を被覆する場合の施工範囲は、特記仕様書による。
- (2) 配管を被覆する場合の適用部分は、施工順序の仕様は次の表－1による。

2. 材料

配管の被覆に必要な材料の仕様は、表－2による。

3. 施工

- (1) 保温材の間隔は相互を密着させ、合わせ部分の継ぎ目は同一線上にないように取り付ける。
- (2) 帯状材の巻き締めは、原則として口径 125mm までは鉄線にて 50mm ピッチのらせん巻きで行い、口径 150mm 以上についてはきつ甲金網にて行う。筒状材の巻き締めは、鉄線にて1本につき2箇所以上行うこととする。
- (3) 粘着テープ貼りの場合は、保温材の合せ目及び継ぎ目をすべて貼り合わせる。
- (4) テープ巻きその他の重なり幅は、原則としてテープ状の場合は 15mm 以上その他の場合は 30mm 以上とする。
- (5) テープ巻きは、配管の下方より上方に巻き上げる。また、ずれるおそれのある場合は、粘着テープや釘などを用いてずれ止めを行う。
- (6) 屋外及び屋内多湿箇所の亜鉛鉄板巻きの継ぎ目は、シール材によるシールを施す。
- (7) 床を貫通する配管は、床面より高さ 150mm 以上のところまで亜鉛鉄板又はステンレス鋼板で被覆して、保温材の保護を行う。
- (8) 室内配管の保温見切り箇所には菊座を、分岐及び曲り部などには必要に応じてバンドを取り付ける。

表－1 被覆の適用区分

適用区分	材料及び施工順序			その他
	屋内及び管廊内	屋外露出	埋設部分	
飲用水管 (井水又は上水)	寒冷地用 1 ポリスチレンフォーム保温材 2 粘着テープ 3 アルミガラスクロス	1 ポリスチレンフォーム保温筒 2 粘着テープ 3 ポリエチレンフィルム 4 ステンレス鋼板 (簡易被覆) 内面ウレタンフォーム、 外面硬質塩化ビニールにて一体化されている保温材にて仕上げる。		1. 寒冷地は特記仕様書による。 2. 管廊内は原則として被覆を施さないものとする。 3. 埋設用でポリ粉体鋼管を使用する場合は、被覆を施さない。

<p>雑用水管 (上水・井水又は処理水)</p>	<p>寒冷地用 1 ポリスチレンフォーム保温材 2 粘着テープ 3 アルミガラスクロス</p>	<p>1 ポリスチレンフォーム保温筒 2 粘着テープ 3 ポリエチレンフィルム 4 ステンレス鋼板</p> <p>(簡易被覆) 内面ウレタンフォーム、外面硬質塩化ビニールにて一体化されている保温材にて仕上げる。</p>	<p>地中埋設 1 防食テープ (2回巻) 又は防食塗装 (2回塗)</p> <p>* 防食テープ (ポリエチレンテープ等) * 防食塗装 (エポキシ樹脂系塗料又はタールエポキシ樹脂塗料)</p> <p>コンクリート埋設 1 防水麻布 (2回巻)</p>	<p>1. 寒冷地は特記仕様書による。 2. 管廊内は原則として被覆を施さないものとする。 3. 処理水などの冷却水、軸封水、消泡水、洗浄水などに供する配管の場合には、特記仕様による。</p>
<p>排水管</p>	<p>同上</p>		<p>同上</p>	
<p>空気管 (爆気用送気管)</p>	<p>1 ロックウール又はグラスウール保温帯又は保温筒 2 鉄線又は亀甲金網 (100mm以下はポリエチレンフィルム) 3 着色亜鉛鉄板</p>	<p>1 ロックウール又はグラスウール保温帯又は保温筒 2 鉄線 3 ポリエチレンフィルム 4 ステンレス鋼板</p>	<p>1 防食テープ (2回巻) 又は防食塗装 (2回塗)</p> <p>* 防食テープ (ポリエチレンフィルム) * 防食塗装 (エポキシ樹脂系塗料)</p>	<p>伸縮継手、弁、フランジ部は除く。</p>
<p>蒸気管</p>	<p>1 ロックウール又はグラスウール保温帯又は保温筒 2 鉄線 3 着色亜鉛鉄板</p>	<p>1 ロックウール又はグラスウール保温帯又は保温筒 2 鉄線 3 ポリエチレンフィルム 4 ステンレス鋼板</p>		
<p>ボイラ煙道エンジン排気管</p>	<p>1 ロックウール (50mm) 2 鉄線又は亀甲金網 3 着色亜鉛鉄板</p>			<p>屋外については特記仕様書による。</p>

1. 保温材は出来る限り保温筒を使用する。
2. 不燃材とする場合は、ロックウール保温材を使用する。

材 料

保温材（保冷材及び防露材含む）外装材及び補助材

* 保温材

ロックウール保温材・・・ ロックウール保温板、筒、帯、及びブランケットは、JIS A 9504 による JIS マーク表示品とし、保温板、保温帯とも 1 号とする。アルミガラスクロス化粧保温板又は保温帯は、ロックウール保温板、又は保温帯（JIS に規定されている表面布は不要）の表面をアルミガラスクロスで被覆したものとする。
ガラスクロス化粧保温板又は保温帯はロックウール保温板、又は保温帯（JIS に規定されている表面布は不要）の表面をガラスクロスで被覆したものとする。

ポリスチレンフォーム保温材・・・ ポリスチレンフォーム保温板及び筒は、JIS A 9511（ポリスチレンフォーム保温材）による JIS マーク表示品としそれぞれ 3 号とする。
ポリスチレンフォームフレキシブルシートは、ポリスチレンフォーム保温板 3 号を圧縮加工により柔軟にしたもので、厚さ 5 mm 以下とする。継手カバー類は、上記規格に規定する原料及び製造方法により原則として金型成型したもので、品質はポリスチレンフォーム保温筒 3 号に適合するものとする。

グラスウール保温材・・・ グラスウール保温板、筒、帯及び波形保温板は、JIS A 9504（グラスウール保温材）によるものとし、保温板及び帯は、2 号 40K 以上のものとする。
アルミガラスクロス化粧保温板、又は保温帯はグラスウール保温板、又は保温帯（JIS に規定されている表面布は不要）の表面をアルミガラスクロスで被覆したものとする。ガラスクロス化粧保温板又は保温帯は、グラスウール保温板、又は保温帯（JIS に規定されている表面布は不要）の表面をガラスクロスで被覆したものとする。

* 外装材

亜鉛鉄板・・・ 亜鉛めっきの付着量は 180g/m²（Z18）以上とし、板厚は、保温外径 250mm 以下の管、弁等に使用する場合は 0.3 mm、その他は 0.4 mm とする。

着色亜鉛鉄板・・・ JIS G 3312（着色亜鉛鉄板）による一般用又は建築外板用とし原板の適用表示厚さは保温外径 250mm 以下の管、弁等に使用する場合は 0.27mm、その他は 0.35 mm とする。

ステンレス鋼板・・・ JIS G4305（冷館圧延ステンレス鋼板）による SUS304 とし厚さは、0.3mm 以上とする。ただし、保温外径 250mm 以下の配管の幅木に使用するものは 0.2mm 以上としてもよい。

- ガラスクロス . . . JIS R 3414(ガラスクロス)に規定する EP21C にほつれ止めを施した無アルカリ平織ガラスクロスとし、スパイラルダクト等に使用する場合は、適当な幅に裁断し、テープ状にしたものとする。ただし、ダクト類の内貼りの押えとして使用するものは、EP18 とする。
- アルミガラス . . . 厚さ 0.02 mm のアルミニウム泊に、JIS R 3414 (ガラスクロス) に規定する EP11E をアクリル系接着剤で接着させたものとし、管等に使用する場合は、適当な幅に裁断し、テープ状にしたものとする。
- アルミガラス . . . アルミガラスクロスのガラスクロス面に粘着剤 (接着力クロス粘着テープ 0.03N/mm²) を粘着加工し、剥離紙をもってその粘着強度を完全に保持したものとする。
- ビニールテープ . . . JIS Z 1901 (防食用ポリ塩化ビニル粘着テープ) に準ずる厚さ 0.2mm の不粘着性の半艶品とする。

* 補助材

- 粘着テープ . . . JIS Z 1525 (包装用ポリ塩化ビニル接着テープ) に準ずる厚さ 0.2mm のものとする。
- ポリエチレン . . . JIS Z 1702 (包装用ポリエチレンフィルム) に規定する 1 フィルム 種 (厚さ 0.05mm) とする。
- 鉄 線 . . . JIS G 3547(亜鉛めっき鉄線)による亜鉛めっき鉄線とする。
- バンド及び菊座 . . . JIS G 4305(冷間圧延ステンレス鋼板)もしくは、JIS G 4307(冷間圧延ベステンレス鋼帯)により製作したもので厚さ 0.2mm 以上とし、バンド幅は、原則として保温外径 150mm 以下は 20mm を超えるものは 25mm とする。
- 接 着 剤 . . . 原則として、ガラスクロス及びアルミガラスクロスの接着の場合は、アクリルエマルジョン接着剤、ポリスチレンフォーム保温材の接着の場合は、酢酸ビニル系接着剤、鋳の接着の場合は、クロロプレン系合成ゴム系接着剤とする。
- 亀甲金網 . . . JIS G 3554 (きつ甲金網) による網目呼称 16、線径 0.5 とし、線材は JIS G 3532 (鉄線) による亜鉛めっき鉄線とする。
- シーリング材 . . . クロロプレンゴム系シーリング材又はシリコン系シーリング材とする。
- 防水麻布 . . . JIS L 3405 によるヘッシャンクロス 7 号の片面に、JIS K 2207 (石油アスファルト) に規定するブロンアスファルト (針入度 10 ~ 20) を塗布したものとし、管などに使用する場合は、適当な幅に裁断したテープ状にしたものとする。

保温の厚さ

単位 mm

呼び径	15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300 以上	保温材	
飲用水管	20											30			ポリスチレン フォーム	
雑用水管																
排水管																
空気管	—			20			40			50			ロックウール			
蒸気管 (低圧)	25					40					50					ロックウール
ボイラ煙 導エンジ ン排気管	75											ロックウール ブランケット				